

令和5年度自己評価結果公表シート

作成 川口聖マリア幼稚園

1、 本園の教育目標

情操豊かにたくましく
他人を思いやる心を育成することを目標とする

2、 評価項目の達成及び取組状況

コロナ禍での生活が長くなったせいもあるのか、子ども達の体力のなさが気にかかる
ところで、身体測定でも顕著に表れているように感じた。芝生の園庭を活かし体のいろい
ろな部分を使えるよう、遊びを提案したりしてきた。
発達の遅れや言語の違いがあっても、それぞれの子らが園で充実した生活が送れるよ
う保護者とも協力しながら環境を整えるよう心掛けている。

3、本年度、重点的に取り組む目標・計画

評 価 項 目	取 組 状 況
遊びの中で基礎体力をつけ、運動する 楽しさを味わえるようにする	身体測定をきっかけに基本的な動きやバランス 感覚や腕力なども意識し、遊びや活動に取り入 れている。
互いの個性や多様性を認め合い、とも に育つことができるよう必要に応じて 対話や働きかけを行っている	発達がゆっくりな子、障がいのある子、言語の 違いなどで必要な援助が違ってくるが、それぞ れの子らが達成感を味わいながら、周りの子ら もそれぞれの特性や考えの違いなどを認められ るよう知らせたり配慮を行っている。
感染症に対する生活の方法を考え実践 するとともに、子どもにもその重要性 を伝え習慣づけを図る	保育者が見本を示したり、絵本等で大切さを知 らせながら手洗い・うがいを励行し、活動や体 調に合わせたマスクの着脱で周りへの感染拡大 につながらないように注意している

4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

コロナ禍での規制もほぼなくなり、幼稚園生活もコロナ前の状態に戻ってきたが、やはりまだ感染を拡大させないための配慮は必要であった。園では特に感染症の拡大は見られず、保護者の協力の下で平穩に教育活動を行うことができた。

子どもの多様性を認めながらも実際にはうまくいかないところもあったが、それぞれの子どもたちに必要な援助を考え保育に取り入れていくことを心掛けることができた。

5、 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
指導計画の編成	特別支援教育、配慮の必要な子といった様々な子どもの実態に即した個別の指導計画にも取り組んでいく。
子どもの体力づくり	遊びの中で体を動かす活動を取り入れ、楽しみながら充実感を味わえるように工夫し、集中力も付けられるようにしていく。
家庭との連携	気になる子どもが増える中で、保護者との信頼関係を築き、不安や心配事への解消へとつなげる。必要があればカウンセリングや関係機関を紹介し、園も連携を取りながら支えとなるようにする。

6、 学校関係者の評価

・概ね日々の努力は認められ特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7、 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。